令和２年３月３日

群馬大学教育学部附属中学校
保　護　者　様

群馬大学教育学部附属中学校
校　長　　上　原　　景　子
（公　印　省　略）

令和元年度　第２回学校評価　生徒・保護者アンケート結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、令和２年２月３日～２１日に、生徒・保護者を対象にした学校評価に関わるアンケートを実施しました。アンケートの回収率は、生徒９７％、保護者６９％でした。ご多忙の中ご協力いただきありがとうございました。

つきましては、別紙の通り、結果をまとめましたのでご覧ください。

１　学校評価について

本校では、次のように学校評価を実施しています。

（１）生徒・保護者を対象とするアンケート調査を行う。
（２）アンケート集計結果や自由記述の内容を基に、教師による自己評価を行う。
（３）教師による記述式の「反省と要望」という形式で、「次年度への改善と方針」を明らかにする。

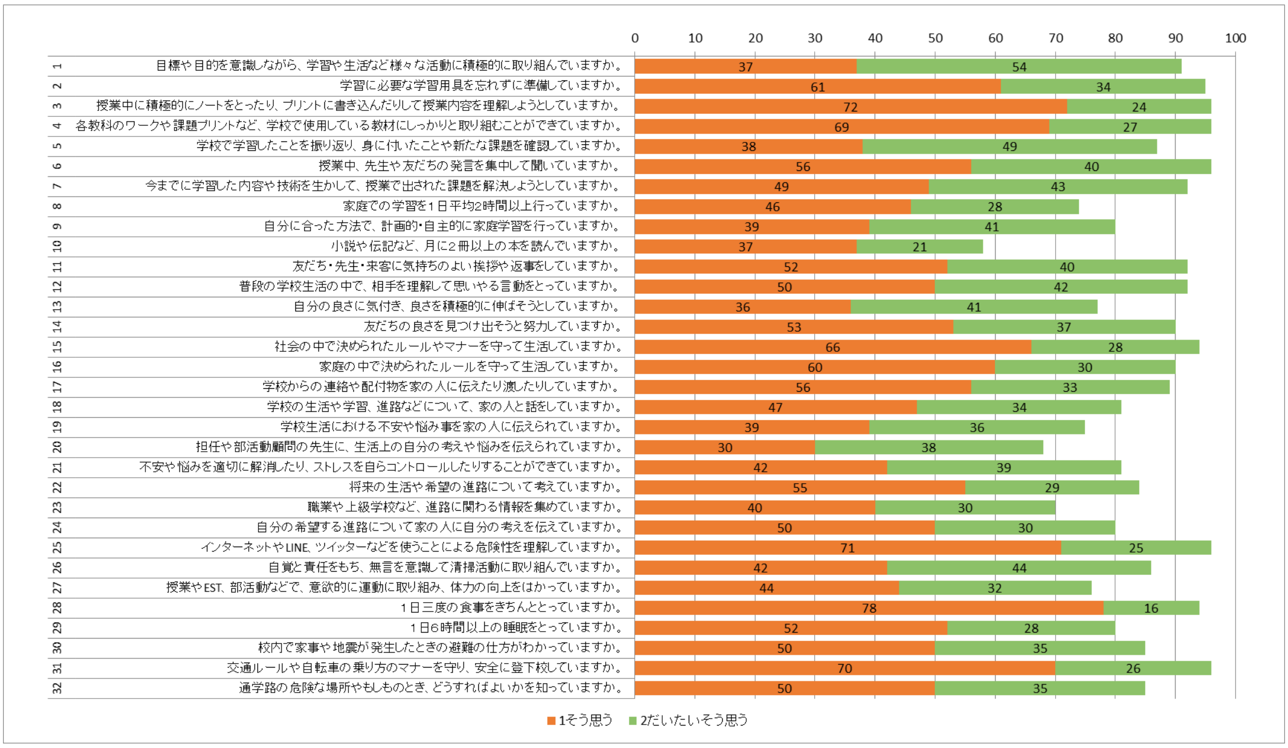
10 月に実施しました第１回のアンケート結果を参考に、その後、教育活動に取り組んでまいりました。今回のアンケートは、今年度２回目の実施になり、第１回のアンケートを踏まえた改善策の評価、この一年間の教育活動の評価の参考とします。

２　資料の見方

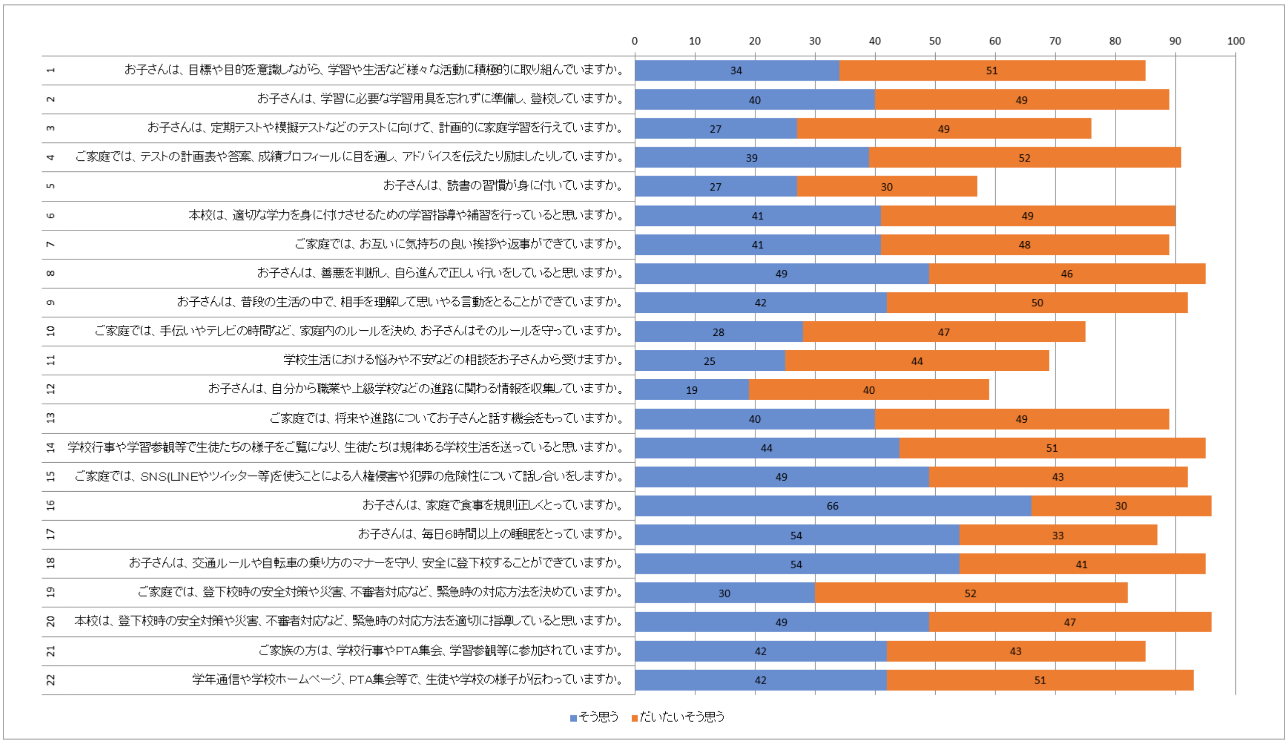
（１）配付したグラフの資料をご覧ください。アンケートの回答の「そう思う」・「だいたいそう思う」・「あまりそう思わない」・「そう思わない」・「わからない」のうち、「そう思う」・「だいたいそう思う」の合計の割合をグラフにしました。

（２）別紙の資料は、第１回のアンケートで「そう思う」・「だいたいそう思う」の合計の割合が低かった項目（70％以下）について、＜生徒＞と＜保護者＞に分け、第１回からの変化や改善に向けての方針、ご協力のお願いなどについてまとめています。

令和元年度第２回学校評価アンケート＜生徒＞２月実施



令和元年度第２回学校評価アンケート＜保護者＞２月実施



「そう思う」・「だいたいそう思う」の合計の割合が低かった項目の変容（第１回→第２回）

＜生徒＞

質問 10「小説や伝記など、月に２冊以上の本を読んでいますか。」６４％→５８％

→第１回のアンケートと比較すると、６ポイント下降しました。３年生が受験期に差し掛かり、読書の時間を勉強時間へと活用したためと考えられます。本校として、今後も、図書委員会の活動を通して、図書室の新刊の紹介を行ったり、図書室の紹介を HP に掲載したりし、生徒への読書啓発活動を継続していきます。読書には新たな知識を獲得するだけでなく、リラックス効果もあると言われています。こうした読書の良さを伝えていけるように、工夫した活動に取り組みます。

質問 20「担任や部活動顧問の先生に、生活上の自分の考えや悩みを伝えられていますか。」６３％→６８％

→第１回のアンケートと比較すると、５ポイント上昇しました。定期教育相談に限らず、普段の生活での生徒との対話の機会を多く持つことができました。今後も、定期教育相談はもとより日々の生活記録ノート、道徳の時間や学級活動等の教育活動を通して、生徒との対話を重視し、支援する姿勢で臨んでまいります。

質問 23「職業や上級学校など、進路に関わる情報を集めていますか。」６９％→７０％

→第１回のアンケートと比較すると、１ポイント上昇しました。今年度は１・２年生でも高校のオープンスクールに参加する生徒が見られました。今後も、高校進学のみを目的とするのではなく、自己の生き方を見つめ、より良い生き方へとつながるような支援・指導を心がけてまいります。

＜保護者＞

質問 3「お子さんは、定期テストや模擬テストなどのテストに向けて、計画的に家庭学習を行えていますか。」６８％→７６％

→第１回のアンケートと比較すると、８ポイント上昇しました。学習計画表をもとに自分で計画を立て、それに基づいてテスト勉強をするようご家庭でもご指導いただいたおかげであると感謝しております。学級担任も定期的に確認をしていますが、今後とも保護者の方にも確認していただき、より良い学習習慣が身に付きますようご協力お願いします。

質問 5「お子さんは、読書の習慣が身に付いていますか。」５６％→５７％

→第１回のアンケートと比較すると、１ポイント上昇しました。上記の生徒質問番号 10 にもあります通り、お子さんの読書量は下降傾向にあります。上記のように、今後も生徒への読書啓発活動を継続していきます。ご家庭におかれましても、話題となっている本を一緒に読んだり、定期的に本を読む時間を設けたりするなど読書の習慣付けを図り、読書に対する興味や関心を引き出すような働きかけを行うよう引き続きお願いします。

質問 10「ご家庭では、手伝いやテレビの時間など、家庭内のルールを決め、お子さんはそのルールを守っていますか。」６６％→７５％

→第１回のアンケートと比較すると、９ポイント上昇しました。ルールやその意義についてお子さんに話したり、ときには成長段階に合わせて変えたりするなど、ご家族で話し合う時間を取っていただいた成果かと思います。引き続き、本校でもお願いします。

質問 11「学校生活における悩みや不安などの相談をお子さんから受けますか。」６１％→６９％

→第１回のアンケートと比較すると、８ポイント上昇しました。生徒質問番号 19「学校生活における不安や悩み事を家の人に伝えられていますか。」では、75％の生徒が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答しています。生徒のアンケート結果と保護者の方のアンケート結果が近づき、生徒と保護者の認識の差が埋まってきたと考えられます。今後も保護者の方とともに教職員もお子さんの学校生活での悩みを解決し、充実した教育活動が享受できるように努めてまいります。

質問 12「お子さんは、自分から職業や上級学校などの進路に関わる情報を収集していますか。」４６％→５９％

→第１回のアンケートと比較すると、１３ポイント上昇しました。３年生が受験期になり、進路への関

心が高まるとともに、そのような先輩の姿を見て、１・２年生の意識も高まったためと考えられます。今後も将来に向けて、お子さんが自主的に進路を選択し、自分の生き方を考えながら自立することができるように、受容し、共感的理解を示しながらも親の思いや意見はしっかりと伝え、面談や成績プロフィールへのコメントなどを機会として親子の対話をもつようにお願いします。